

令和 6 年度

岐阜市環境基本計画 評価報告書

令和 6 年 9 月

岐阜市環境審議会 環境基本計画評価部会

目次

第 1 部 岐阜市環境基本計画（令和 5～9 年度）の概要

(1) 目的と位置づけ	1
(2) 基本目標と施策体系	1
(3) 計画の推進	1

第 2 部 環境施策の評価

(1) 岐阜市環境基本計画（令和 5～9 年度）の施策指標一覧	2
(2) 評価部会委員と開催状況	4
(3) 評価結果	4
(4) その他意見等	5

第 3 部 施策の取組状況

施策 1 地球温暖化対策として脱炭素化を促進します	6
施策 2 ごみを減量・資源化します	12
施策 3 生物多様性を保全します	17
施策 4 生活環境を快適にします	22
施策 5 環境意識を高めます	35

第 4 部 アンケート調査の結果

(1) 環境に関するアンケート	43
(2) 市民意識調査	45

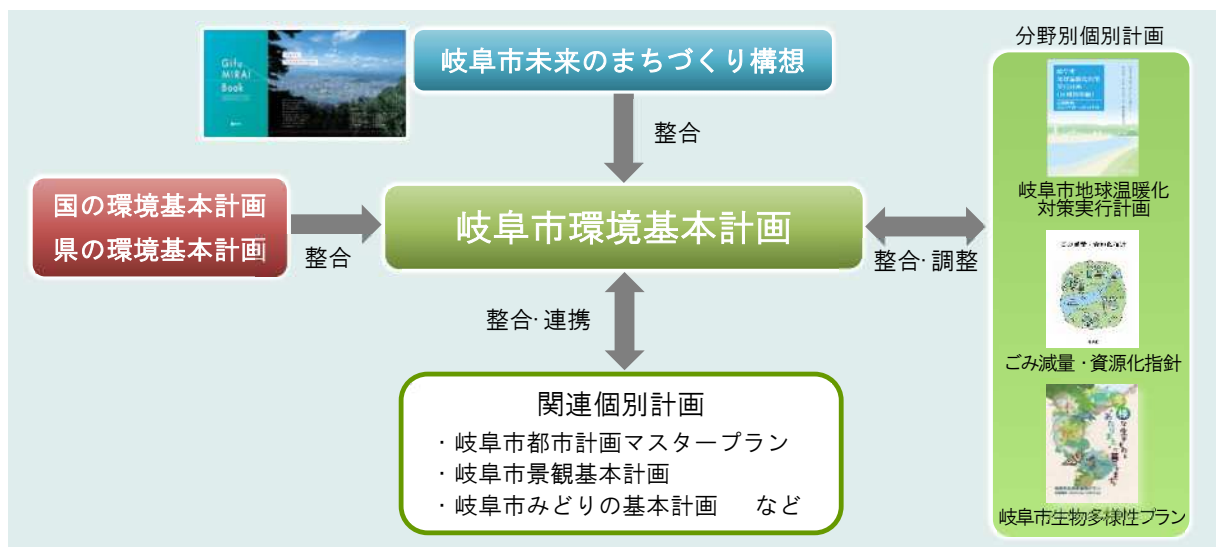
※本書で示した数値は、小数点以下の数値処理により、内訳の計と一致しないことがあります。

第Ⅰ部 岐阜市環境基本計画(令和5～9年度)の概要

(1) 目的と位置づけ

岐阜市環境基本計画は、「岐阜市環境基本条例」に掲げる基本理念と基本原則のもと、同条例第9条に規定する環境の保全及び創出に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画です。

岐阜市のまちづくりの総合的な方針である「岐阜市未来のまちづくり構想」に基づくとともに、環境分野の個別計画の方向性や施策を横断的にとりまとめたものであり、本市の中長期的な環境ビジョンとして、総合的に施策を展開します。



(2) 基本目標と施策体系

目指すべき環境都市像である「環境と調和する、人にやさしい都市岐阜」の実現に向けて、5つの基本目標と対応する5つの施策を設定しています。



(3) 計画の推進

計画を着実に推進していくため、岐阜市環境審議会に専門部会「環境基本計画評価部会」（以下「評価部会」という。）を設置し、毎年、環境基本計画に掲げる各施策の進捗状況の点検・評価を行い、評価結果を環境審議会へ報告するとともに、環境白書等で公表します。

第2部 環境施策の評価

(1) 岐阜市環境基本計画（令和5～9年度）の施策指標一覧

指標名	基準 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	推進状況 (令和5年度)	評価※
施策1 地球温暖化対策として脱炭素化を促進します				
1 温室効果ガスの排出量の削減				
①本市の温室効果ガス排出量	174.4 万 t-CO ₂ (令和元年度)	111.0 万 t-CO ₂ (2030 年度)	169.5 万 t-CO ₂ (令和2 年度)	○
②市有施設の温室効果ガス排出量	13 万 t-CO ₂ (令和2 年度)	5.7 万 t-CO ₂ (2030 年度)	11.6 万 t-CO ₂	○
③再生可能エネルギーの発電電力量	1,916 TJ	3,415 TJ	2,077 TJ	○
④地球温暖化対策に取り組んでいる人の割合	83.0% (令和4 年度)	増加	76.8%	△
2 気候変動への適応				
①気候変動が及ぼす影響に関する周知啓発の実施回数	—	15 回	2 回	○
②企業の BCP の策定率	9.0%	増加	9.4%	◎
③市が行う省エネ再エネ関連設備の補助金の申請件数	172 件/年	1,000 件 /5 年間	207 件 /1 年間	○
施策2 ごみを減量・資源化します				
1 廃棄物の減量と資源化				
①ごみの焼却量	122,831 t	100,000 t (令和7 年度)	111,970 t	○
②紙類の年間回収量	14,927 t (推計値)	18,034 t (令和7 年度)	14,165 t	△
③生ごみ減量に取り組む世帯数	430 世帯 (ダンボールコンポストのみ)	1,000 世帯	619 世帯	○
④プラスチック製容器包装の資源化率	79.2% (令和4 年度上半期)	85%	74.3%	△
施策3 生物多様性を保全します				
1 生物多様性の保全				
①生物多様性に関する広報の実施	2 回	8 回	8 回	◎
②自然環境保全活動団体の活動支援回数	43 回	43 回	46 回	◎
③自然を守る取り組みをしている人の割合	34.4% (令和4 年度)	40%	31.8%	△
④本市のレッドデータブックに掲載した生きものの保全に関する活動回数	16 回	増加	14 回	△

※◎：目標以上、○：前進(基準より向上)、△：現状維持(基準比 10%程度の増減を含む)、×：後退

指標名	基準 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	推進状況 (令和5年度)	評価※
施策4 生活環境を快適にします				
1 大気環境の保全				
①光化学オキシダントの環境基準の適合率	94%	96%	94%	△
②微小粒子状物質(PM _{2.5})の環境基準の適合率	100%	100%	100%	◎
③ダイオキシン類対策特別措置法の対象事業場の基準の適合率	100%	100%	90%	△
④アスベスト除去現場の漏えい基準の適合率	100%	100%	100%	◎
2 水・土壌環境の保全				
①河川水質基準の適合率	89.4%	100%	97.5%	○
②排水基準の適合率	92.7%	100%	98.2%	○
③地下水の概況調査における環境基準の適合率	100%	100%	100%	◎
④ダイオキシン類環境基準の適合率(水・土壌)	100%	100%	100%	◎
3 騒音・振動・悪臭の規制				
①騒音の環境基準の達成率(一般地域)	100%	100%	100%	◎
②騒音の環境基準の達成率(自動車騒音)	93.9%	95%	93.1%	△
③騒音の環境基準の達成率(航空機騒音)	100%	100%	100%	◎
施策5 環境意識を高めます				
1 環境教育の推進と環境意識の向上				
①環境学習をしている人の割合	43.8%	50%	41.8%	△
②出前講座の開催回数	206回	増加	194回	△
③子どもの環境意識	78.2% (令和4年度)	増加	75.0%	△
④こどもエコクラブへの参加団体数	33団体	33団体	24団体	×
⑤体験型環境教育の実施校数	14校	増加	35校	◎
2 市民協働による環境美化の推進				
①ごみゼロ運動・クリーンシティぎふの日運動における参加人数	41,883人	42,000人	46,180人	◎
3 環境重点地区の設定				
①生物多様性保全推進区域内での保全活動支援回数	33回	増加	33回	△
②中心市街地の歩行者・自転車通行量	38,600人/日	45,700人/日	40,996人/日	○

(2) 評価部会委員と開催状況

委員氏名（所属等）		開催日	評価施策
部会長	小島 悠揮（岐阜大学工学部）	①令和 6 年 7 月 30 日	施策 3「生物多様性を保全します」 施策 4「生活環境を快適にします」
副部会長	坂井田 節（長良川環境レンジャー協会）		
委員	藤田 朋子（生活協同組合 コープぎふ）	②令和 6 年 9 月 2 日	施策 1「地球温暖化対策として 脱炭素化を促進します」 施策 2「ごみを減量・資源化します」 施策 5「環境意識を高めます」
委員	岸野 吉晃（公募）		
委員	保坂 慎太郎（公募）		

(3) 評価結果

◆施策 1

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価			評価部会の評価・意見
7	◎（目標以上）	1	目標達成率(◎)	- 前計画から変更した指標が多いこともあり、今回の実績を基に様々な取り組みを進め、さらに前進してほしい。 - 岐阜市全体の温室効果ガス排出量を評価するには、2030 年度より前の中間的な目標数値があると良い。 - 企業の BCP 策定率の底上げのため、分析や効果的な取り組みを行ってほしい。
	○（前進）	5	14%	
	△（現状維持）	1	前進以上(◎・○)	
	×（後退）	0	86%	

◆施策 2

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価			評価部会の評価・意見
4	◎（目標以上）	0	目標達成率(◎)	- 岐阜市全体のごみの焼却量が順調に減少していることは評価できる。 - プラスチック製容器包装の適切な排出方法について、市民への周知啓発に努めることで、資源化率の向上を期待する。
	○（前進）	2	0%	
	△（現状維持）	2	前進以上(◎・○)	
	×（後退）	0	50%	

◆施策 3

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価			評価部会の評価・意見
4	◎（目標以上）	2	目標達成率(◎)	岐阜市の自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」が十分に認知されていないため、広報の回数を増やすだけでなく、サイトの普及や広報の仕方の工夫にも取り組むことで、「自然を守る取り組みをしている人の割合」の向上に繋がると考えられる。
	○（前進）	0	50%	
	△（現状維持）	2	前進以上(◎・○)	
	×（後退）	0	50%	

◆施策 4

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価			評価部会の評価・意見
11	◎（目標以上）	6	目標達成率(◎)	- 目標達成している指標が多く、計画 1 年目で 55%の目標達成率であることは評価できる。 - 岐阜市内の取り組みだけでは数値の改善が難しい指標については、調査だけでなく改善に向けた具体的な取り組みを検討すると良い。
	○（前進）	2	55%	
	△（現状維持）	3	前進以上(◎・○)	
	×（後退）	0	73%	

◆施策 5

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価			評価部会の評価・意見
8	◎（目標以上）	2	目標達成率(◎)	- 現状維持及び後退の指標について、今後前進できるように、特に力を入れて取り組んでほしい。 - 市民意識に関わるが多く、広報によって前進できる可能性が高いと考えられるため、引き続き周知啓発に努めてほしい。
	○（前進）	1	25%	
	△（現状維持）	4	前進以上(◎・○)	
	×（後退）	1	38%	

◆全体

指標数	推進状況(令和5年度)評価		評価部会の評価・意見
34	◎(目標以上)	11	目標達成率(◎) 32% 前進していない指標も多く、特に施策5は前進の余地があると考えられるため、着実に取り組みを行ってほしい。 計画1年目ということで、今回の結果を踏まえて課題を抽出し、今後の取り組みに活かしてほしい。
	○(前進)	10	
	△(現状維持)	12	
	×(後退)	1	

(4) その他意見等

◆評価部会の意見

＜指標に関すること＞

・**施策1** 指標1-①「本市の温室効果ガス排出量」

・評価対象が4年度前の数値であり、これからの取り組みの結果が、令和9年度までの計画期間中に反映されないため、評価が難しい。

・**施策1** 指標2-②「企業のBCP策定率」

・単年度では変動が大きいため、数年間の移動平均値を使うなど、次回の計画改定時に指標を継続する場合には改善するのが良い。

・目標を「増加」ではなく、具体的な数値でもって設定すべき。

・**施策2** 指標②「紙類の年間回収量」

・全体のごみ量が減少する中で、紙類の回収量の増加を目標とすることが適当なのか疑問。次回の計画改定時に検討してほしい。

・**施策2** 指標③「生ごみ減量に取り組む世帯数」

・今後、補助制度がなくなる場合には、他の取り組める項目を増やすことを検討してほしい。

・**施策5** 指標1-③「子どもの環境意識」

・学ぶ前から行動していた児童生徒を母数に入れての比較が適当なのか疑問。次回の改定時に検討してほしい。

＜アンケートに関すること＞

・**施策1** 指標1-④「地球温暖化対策に取り組んでいる人の割合」

・アンケートで答える取り組みの選択肢が高度なものが多いと感じるため、身近なものを加えると良い。

・**施策5** 指標1-①「環境学習をしている人の割合」

・アンケートで回答する際に、環境学習のイメージがしづらいように感じるため、もう少し具体性のある内容を追記できると良い。

第3部 施策の取組状況

施策1 地球温暖化対策として脱炭素化を促進します

1 温室効果ガスの排出量の削減

「岐阜市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、市域の温室効果ガス排出量を「2030年度までに基準年度（2013年度）比46%削減」、「2050年度までに実質ゼロ」とすることを目標に、再生可能エネルギーの導入促進等により温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。

◆各指標の推進状況

指標名	①本市の温室効果ガス排出量				
指標の見方	市域の各部門から排出される温室効果ガスの年間排出量				
基準	174.4万t-CO ₂ （令和元（2019）年度）		目標	111.0万t-CO ₂ （2030年度）	
推進状況※	令和2年度 （2020）	令和3年度 （2021）	令和4年度 （2022）	令和5年度 （2023）	令和6年度 （2024）
	169.5万t-CO ₂				
今後の対応	温室効果ガス排出量は減少傾向にあるが、目標達成に向けて、排出割合の高い民生家庭部門及び運輸部門を中心に、さらなる削減を目指す。				

※点検・評価時点の最新年度の数値（数値の算定には、毎年末頃に3年度前の数値を公表する統計資料が必要なため）

・本市の温室効果ガス排出量（内訳・推移）

（万t-CO₂）

区分／年度	平成25年度 （2013）	平成30年度 （2018）	令和元年度 （2019）	令和2年度 （2020）
二酸化炭素排出量	196.2	177.5	168.0	163.1
産業部門	34.1	26.1	24.1	24.0
民生家庭部門※ ¹	62.4	58.2	53.2	55.4
民生業務部門※ ²	33.3	30.0	29.2	27.1
運輸部門	61.5	57.1	56.0	51.3
廃棄物分野	4.9	6.1	5.5	5.3
その他ガス	7.0	6.5	6.3	6.4
温室効果ガス排出量	203.2	184.0	174.4	169.5
森林吸収量	0.0	▲0.7	▲0.8	▲0.7
正味排出量※ ³	203.2	183.2	173.6	168.8

※¹ 民生家庭部門は家庭生活での排出

※² 民生業務部門はサービス関連産業や公的機関等の活動に伴う排出

※³ 正味排出量とは、森林吸収・その他オフセットを考慮した排出量

指 標 名	②市有施設の温室効果ガス排出量				
指標の見方	市有施設における温室効果ガスの年間排出量				
基 準	13 万 t-CO ₂ (令和 2(2020)年度)		目 標	5.7 万 t-CO ₂ (2030 年度)	
推進状況	令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024)	令和 7 年度 (2025)	令和 8 年度 (2026)	令和 9 年度 (2027)
	11.6 万 t-CO ₂ (暫定値)				
今後の対応	LED 照明等の省エネ設備や太陽光発電設備の導入により施設の脱炭素化を進めるとともに、節電やごみ減量・資源化等の取り組みを徹底し、温室効果ガス排出量の削減を図る。				

・市有施設の温室効果ガス排出量（内訳・推移）

(t-CO₂)

区分／年度	令和 2 年度 (2020)	令和 3 年度 (2021)	令和 4 年度 (2022)	令和 5 年度 (2023)
民生業務部門(公共施設等)	63,091	69,302	67,072	63,480※
運輸部門(公用車)	1,485	1,332	1,396	1,348※
廃棄物部門	65,795	65,954	59,651	50,937
合計	130,371	136,588	128,119	115,765※

※暫定値

指 標 名	③再生可能エネルギーの発電電力量					
指標の見方	市内の太陽光発電設備等による再生可能エネルギーの発電電力量					
基 準	1,916 TJ (令和 3 年度)			目 標	3,415 TJ (令和 9 年度)	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	2,077 TJ					
今後の対応	補助制度による支援や普及啓発等により、太陽光発電設備の設置を促進するとともに、多様な再生可能エネルギーの活用促進を図る。					

・再生可能エネルギーの発電電力量（内訳・推移）

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
太陽光	1,661 TJ	1,734 TJ	1,821 TJ
バイオマス	256 TJ	256 TJ	256 TJ
合計	1,916 TJ	1,990 TJ	2,077 TJ

指標名	④地球温暖化対策に取り組んでいる人の割合				
指標の見方	アンケートで、地球温暖化対策に「いつも取り組んでいる」「ときどき取り組んでいる」と答えた人の割合				
基準	83.0%（令和4年度）		目標	増加（令和9年度）	
推進状況	令和5年度 76.8%	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 達成
今後の対応	イベント等を通じて、地球温暖化対策について学ぶ機会をさらに増やすとともに、ホームページや動画等を活用し、市民の意識啓発を図る。				

・地球温暖化対策に取り組んでいる人の割合（内訳・推移）

＜環境に関するアンケート＞

Q. 身近な生活の中で、地球温暖化対策に役立つ行動に取り組んでいますか。

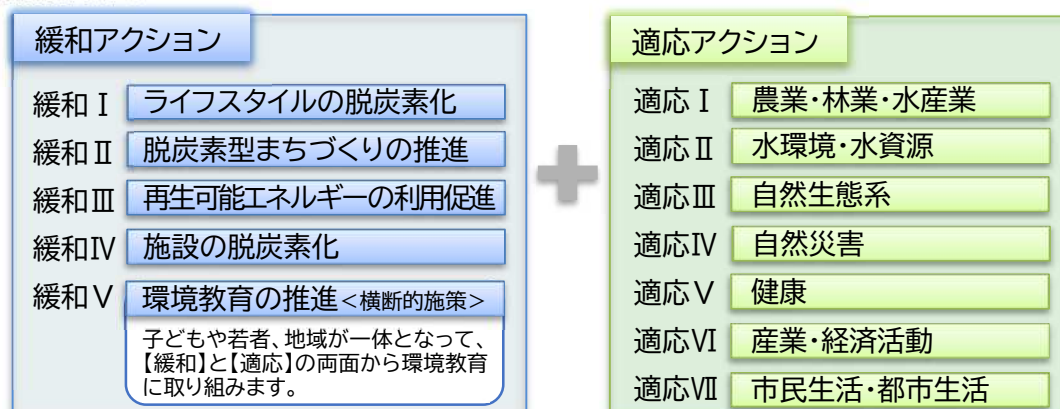
回答 (市内在住者)	年 度 実施回数	令和4年度		令和5年度	
		3回		4回	
		人数	割合	人数	割合
いつも取り組んでいる		104人	18.6%	62人	17.8%
ときどき取り組んでいる		360人	64.4%	206人	59.0%
ほとんど取り組んでいない		82人	14.7%	71人	20.3%
取り組んでいない		13人	2.3%	10人	2.9%
合計		559人	—	349人	—

◆関連する主な事業等

・岐阜市地球温暖化対策実行計画の推進

温室効果ガスの排出量を削減する「緩和」の取り組みと、気候変動の影響を防止・軽減する「適応」の取り組みを、両立して推進するため、各施策を展開しています。

＜施策体系＞



・環境アクションプランぎふ（「岐阜市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」）の推進

市役所自らが事業者として、率先して環境に配慮するための取り組みを定めたもので、令和5年3月に改定し、2030年度までに、市の事務事業の温室効果ガス排出量を2013年度比で60%削減することを目標に、市有施設の照明LED化や再生可能エネルギーの導入、環境に配慮した物品購入などに取り組んでいます。

・ **ぎふ減^{げん こっ}CO2ポイント制度**（岐阜市地球温暖化対策推進委員会事業）

電気・ガス・水道の使用量削減や省エネ家電の購入、公共交通機関の利用など、各家庭において二酸化炭素（CO₂）排出量を減らす取り組みをすることでポイントが貯まり、貯まったポイントで「もっと省エネ啓発品」が当たる抽選に応募できる岐阜市独自の制度です。一人ひとりの継続的な省エネルギーの取り組みを促すため、平成 20 年度から実施しています。

＜ぎふ減 CO2 ポイント制度の実績＞

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ぎふ減 CO2 ポイント制度の年間参加者数	2,051 人	2,281 人	1,893 人
二酸化炭素削減量	191.4 t-CO ₂	141.2 t-CO ₂	141.9 t-CO ₂

・ **ぎふエコチャレンジエコスクールレポート**（岐阜市地球温暖化対策推進委員会事業）

地球温暖化をはじめとする環境問題に対して、取り組みを行う岐阜市内の小中学校等をエコスクールとして認定し、その取り組み内容を「ぎふエコチャレンジエコスクールレポート」として広く紹介することにより、市域における地球温暖化対策の推進と環境意識の活性化を促進しています。

＜エコスクールの認定＞

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
エコスクール認定校	日野小、梅林小、長良中、長良特別支援中学部(4 校)	岐阜小、長良西小、則武小、精華中(4 校)	厚見小、白山小、鶯谷中、岐阜清流中(4 校)

2 気候変動への適応

「岐阜市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を、気候変動適応法に基づく「地域気候変動適応計画」としても位置づけ、気候変動による影響への適応策を盛り込み、取り組みを推進しています。

◆各指標の推進状況

指標名	①気候変動が及ぼす影響に関する周知啓発の実施回数					
指標の見方	農業や水環境など気候変動に関する周知啓発を実施した回数					
基準	—			目標	15 回（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	2 回					
今後の対応	気候変動による影響について、情報収集を進め、関係者への適切な情報提供と周知啓発に努める。					

・気候変動が及ぼす影響に関する周知啓発の実施回数（内訳）

方法／年度	令和 5 年度	
イベント	1 回	(岐阜市脱炭素社会推進シンポジウム)
ホームページ	1 回	(岐阜市脱炭素ポータルサイト)
合計	2 回	

指標名	②企業の BCP の策定率					
指標の見方	市内の企業が BCP を策定した割合※					
基準	9.0%（令和 3 年度）			目標	増加（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	9.4%					
今後の対応	気候変動の影響による災害対策も想定し、事業継続のための方法・手段等を取り決めておくため、BCP 策定に向けた取り組みを支援する。					

・企業の BCP の策定率※（内訳・推移）

※市内の景気状況を把握するため、約 300 社を対象に行う景況調査の結果に基づく割合

回答／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
策定済み	9.0%	24.1%	9.4%
現在策定中	11.3%	18.1%	6.1%
必要性を感じているが策定していない	46.3%	33.1%	37.2%
必要性を感じない	33.3%	24.7%	22.8%
制度を知らない	—	—	24.4%

○BCP

事業者が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合に、被害を最小限に防ぎつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画。

指 標 名	③市が行う省エネ再エネ関連設備の補助金の申請件数					
指標の見方	蓄電池など、市が行う省エネ再エネ関連設備補助の申請件数の累計					
基 準	172 件/年（令和 3 年度）		目 標	1,000 件/5 年間（令和 9 年度）		
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	207 件/1 年間					
今後の対応	国や県等の補助制度を活用しながら、省エネルギーや再生可能エネルギーに関する補助制度の展開と市民への普及啓発に取り組む。					

・市が行う省エネ再エネ関連設備の補助金の申請件数（内訳・推移）

補助対象／各年度の申請件数		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
市単独	家庭用蓄電池	78 件	106 件	35 件
	家庭用次世代自動車充電設備(V2H)	8 件	0 件	0 件
	家庭用燃料電池	35 件	—	—
	ゼロエネルギー住宅	51 件	—	—
県補助※	家庭用太陽光発電設備	—	37 件	89 件
	家庭用蓄電池(太陽光発電設備と同時設置)	—	31 件	83 件
合計		172 件	174 件	207 件

※環境省の「地域脱炭素・再エネ推進交付金（重点対策）」を活用した岐阜県太陽光発電設備等設置費補助金を受けて実施

◆関連する主な事業等

・家庭用蓄電池普及促進補助金

家庭からの二酸化炭素の排出量の削減を図るため、太陽光発電システムを設置している市内の住宅に蓄電池を新たに設置した方、もしくは市内の住宅に太陽光発電システム及び蓄電池を新たに同時設置した方に対し、リチウムイオン蓄電池設置工事に関する費用の一部を補助しています。

・家庭用次世代自動車充電設備（V2H）普及促進補助金

次世代自動車の普及の促進を図り、地球温暖化対策を推進するため、市内の住宅に次世代自動車充電設備（V2H）を新たに設置した方に対し、その設置費の一部を補助しました。（令和 5 年度まで実施）

・家庭用太陽光発電設備等普及促進補助金（岐阜県太陽光発電設備等設置費補助金）

家庭からの温室効果ガス排出削減を図るため、太陽光発電設備と蓄電池（太陽光発電設備と同時設置に限る）を設置した方に対し、設置費用の一部を補助しています。

・岐阜市省エネ家電購入支援事業補助金

家庭生活における電気料金の負担を軽減するとともに、省エネルギーの促進や温室効果ガスの排出を削減することを目的に、省エネ性能が高い電気冷蔵庫・冷凍庫、エアコンの購入費用の一部を補助しました。（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、令和 5 年度に実施）

＜交付実績(令和 5 年度)＞

対象家電	補助件数
電気冷蔵庫・冷凍庫	972 件
エアコン	415 件
合計	1,387 件

施策 2 ごみを減量・資源化します

1 廃棄物の減量と資源化

循環型社会の実現に向け、「ごみ減量・資源化指針」に基づき、ごみ焼却量がピークであった平成 9 年度の 15.6 万 t から 1/3 以上の削減となる「ごみ焼却量 10 万 t 以下」を目標に、市民運動を展開し、ごみの減量や資源循環に取り組んでいます。

◆各指標の推進状況

指 標 名	①ごみの焼却量					
指標の見方	選別、粉碎処理後の可燃物（し尿処理後の残さの焼却等を含む）					
基 準	122,831 t（令和 3 年度）			目 標	100,000 t（令和 7 年度）	
推進状況	令和 5 年度 111,970 t	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	ごみの焼却量は順調に減少しており、今後も資源ごみの分別や回収、再利用などの取り組みを推進し、ごみの減量を図る。					

・ごみの焼却量（推移）

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ごみ焼却量	122,831 t	114,394 t	111,970 t
人口※	402,965 人	401,294 人	399,492 人
1人1日あたりのごみ焼却量	835 g/人・日	781 g/人・日	766 g/人・日
中核市順位	47/62 市	34/62 市	-

※各年度末時点

指 標 名	②紙類の年間回収量					
指標の見方	資源分別回収等（市内の民間の古紙等回収ステーション含む）での回収量					
基 準	14,927 t（令和 3 年度推計値）			目 標	18,034 t（令和 7 年度）	
推進状況	令和 5 年度 14,165 t	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	家庭系普通ごみに含まれる紙ごみの多くを占める雑がみの回収促進のため、講座やイベント等を通じた啓発や回収機会・拠点の拡充に取り組む。					

②紙類の年間回収量（内訳・推移）

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
資源分別回収 （うち古紙回収ボックス）	4,354 t (466 t)	4,008 t (501 t)	3,481 t (465 t)
柳津資源ステーション	104 t	73 t	58 t
民間の古紙等回収 ステーション	10,470 t	11,350 t	10,626 t
合計	14,928 t※	15,431 t	14,165 t

※実績値

指 標 名	③生ごみ減量に取り組む世帯数					
指標の見方	ダンボールコンポストと電気式生ごみ処理機の補助世帯数					
基 準	430 世帯（令和 3 年度） ※ダンボールコンポストのみ			目 標	1,000 世帯（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度 619 世帯	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	講座やイベント等を通じて、生ごみの減量方法を周知するとともに、補助制度を展開し、市民への普及啓発に取り組む。					

・生ごみ減量に取り組む世帯数（内訳・推移）

補助対象／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ダンボールコンポスト	430 世帯	418 世帯	385 世帯
電気式生ごみ処理機※ （ ）は各年度の補助件数	—	64 世帯 (64)	234 世帯 (170)
合計	430 世帯	482 世帯	619 世帯

※耐用年数が 6 年程度で補助は 1 世帯に 1 回限りのため、世帯数は累計の値で算出する

指 標 名	④プラスチック製容器包装の資源化率					
指標の見方	資源化処理量/年間のプラスチック製容器包装収集量					
基 準	79.2%（令和 4 年度上半期）			目 標	85%（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度 74.3%	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	講座やイベント、広報紙やホームページ等を活用し、プラスチック製容器包装の適切な排出方法について啓発する。					

・プラスチック製容器包装の資源化率（内訳・推移）

区分／年度	令和 4 年度	令和 5 年度
プラスチック製容器包装 収集量	4,793 t	4,533 t
資源化処理量	3,815 t	3,370 t
資源化率	79.6%	74.3%

◆関連する主な事業等

・ごみ減量・資源化指針の推進

「ごみ減量・資源化指針」の目標達成に向けて、具体的な取り組みを示す6つの作戦を掲げ、市民、事業者、市が一体となった取り組みを進めています。また、作戦の進捗状況を管理するため、「ごみ減量・資源化指針アクションプラン」を作成しています。

- 作戦1 多様な資源ごみ回収を促進する
- 作戦2 紙ごみを減らす
- 作戦3 生ごみを減らす
- 作戦4 プラスチックごみを減らす
- 作戦5 事業系ごみを減らす
- 作戦6 ごみ処理有料化制度の導入を検討する

・資源分別回収事業

身近なりサイクル活動として、昭和58年度から自治会連合会を中心に資源の集団回収を実施しています。また、回収業者から支払われる売却金のほかに、回収された資源の量に応じて、市から奨励金を交付しています。

＜資源分別回収による回収量＞

回収品目／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
紙類（新聞、チラシ、雑誌、段ボール、紙バック、雑がみ）	4,354 t	4,008 t	3,481 t
古着（古着、下着、タオル、シーツ等）	331 t	267 t	219 t
カン・フライパン類（アルミカン、スチールカン、缶詰カン、やかん等）	108 t	89 t	81 t
合計	4,793 t	4,364 t	3,781 t

・古紙回収用ボックス設置事業

地域の資源分別回収量の増加と利用者の利便性向上を図ることを目的に、地元管理による紙類回収拠点を、平成24年度から公有地にある公民館等に、令和3年度からは民有地にも設置し、令和5年度末までに32地域39か所に設置しています。



＜回収量古紙回収用ボックス設置地域（設置順）＞

木田、芥見東、厚見、芥見南^{※1}、加納西、白山、本荘、日置江、柳津町^{※1}、三里、長森北^{※2}、梅林、加納東、合渡、島、七郷、城西、日野^{※1}、長森南^{※1}、芥見^{※1}、茜部、岩野田北、早田、長良西^{※1}、西郷^{※1}、本郷、藍川、長森東、岩、黒野、三輪北、三輪南

※1 2か所設置

※2 令和5年度末から休止中

・ダンボールコンポストの普及促進

生ごみの減量・資源化を推進するため、ダンボール箱で手軽に生ごみを堆肥化できるダンボールコンポストの普及を進めています。毎月定期的に、市内各所でダンボールコンポスト講座を開催するとともに、動画「おうちでダンボールコンポスト」を配信し、実践方法を紹介しています。

＜ダンボールコンポスト講座の開催回数＞

講座内容／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
導入講座 (専門講師から使用方法を学ぶ)	33 回	31 回	29 回
アフター講座 (再度、使用方法を確認)	3 回	4 回	3 回
合計	36 回	35 回	32 回

・ダンボールコンポスト普及促進補助金

家庭の生ごみを減量するため、ダンボールコンポストに必要なダンボール箱と基材の購入費用の一部を補助しています。

＜ダンボールコンポスト普及促進補助金の補助数＞

補助対象／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ダンボール箱	729 個	660 個	584 個
基材	1,053 個	1,040 個	951 個

※補助額はダンボール箱 170 円/箱、基材 470 円/個

・生ごみ地域循環事業

ダンボールコンポストで作った堆肥を家庭で使いきれない場合、市が余剰堆肥を回収し、学校の花壇などで活用しています。令和5年度は、回収した堆肥を、加納小学校、岩小学校、長良西小学校へ配布し、学校の花壇や畑などでの花植えや野菜作りに活用しました。

・電気式生ごみ処理機購入費補助金

生ごみの減量・資源化を促進することを目的に、家庭用電気式生ごみ処理機の購入費用の一部を補助しています。

＜電気式生ごみ処理機購入費補助金の交付実績＞

区分／年度	令和4年度	令和5年度
申請件数	64 件	170 件
補助金額 (予算額)	1,021,650 円 (100 万円)	3,003,550 円 (300 万円)

※補助額は購入金額の 1/2 相当額（上限 2 万円）

・ ^{さん}3・^{さん}3 プロジェクト

食材を“使いキリ”、出された料理を“食べキリ”、生ごみを出すときは“水キリ”の「^{さん}3キリ」と、ごみの発生を減らす「Reduce」、くりかえし使う「Reuse」、資源として再生利用する「Recycle」を考えて、買い物・調理・片づけを行う「^リ3 ^{サイ}R ^{クル}ッキング」をあわせて行い、生ごみを減量する取り組みです。3 R ^{スリー}ッキング講座やごみ減量・資源化講座などの出前講座などを通して普及啓発を行っています。

また、食品ロスの削減に取り組む市内の店舗及び企業等の事業所等を「3・3 プロジェクト 岐阜市食べキリ協力店・協力企業」として登録しています。令和 5 年度末の登録事業所数は 191 店舗でした。

・ シビック・アクション号による施設見学

ごみ処理施設やリサイクル施設の見学を希望する自治会や市民団体等に対して、バス手配や見学受け入れ施設との調整を行い、施設見学を支援しています。

＜シビック・アクション号の利用数＞

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用団体数	(新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)	14 団体	14 団体
利用者数		359 人	329 人

・ ごみ減量フォーラムの開催

ごみ減量に関する市民意識を高め、市民運動を盛り上げていくため、毎年度開催しています。フォーラムでは、ごみ減量・資源化についての講演のほか、各地域の 6～8 月の資源分別回収での雑がみ回収量を競う「雑がみ集めてグランプリ」の表彰式や、市内小中学生によるごみ減量に関するポスターの入賞作品の表彰などを行っています。

施策 3 生物多様性を保全します

1 生物多様性の保全

「岐阜市生物多様性プラン」に基づき、「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」を目指し、自然情報の調査結果を取りまとめた「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック 2023」を活用するとともに、環境教育の拡充と担い手づくりに力を入れ、生物多様性の保全に向けた取り組みを行っています。

◆各指標の推進状況

指 標 名	①生物多様性に関する広報の実施					
指標の見方	ぎふネイチャーネットなどへの掲載回数					
基 準	2 回（令和 3 年度）			目 標	8 回（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	8 回					
今後の対応	ぎふネイチャーネット等を通じて、生物多様性や保全活動に関する広報を行い、意識啓発を図る。					

・生物多様性に関する広報の実施（内訳・推移）

掲載場所／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ぎふネイチャーネット※	2 回	1 回	8 回

※岐阜市の自然・環境活動情報サイト（<https://gifu-nature.net>）

指 標 名	②自然環境保全活動団体の活動支援回数					
指標の見方	自然環境保全活動団体の活動を職員が支援した回数					
基 準	43 回（令和 3 年度）			目 標	43 回（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	46 回					
今後の対応	自然環境保全活動団体が行うイベントへの参加や協力、広報の実施などにより、団体の活動支援を行う。					

・自然環境保全活動団体の活動支援回数（内訳・推移）

団体名（支援した活動）／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
達目洞自然の会（達目洞保全活動）	12 回	12 回	12 回
十時会（金華山登山道整備活動、定例会）	10 回	12 回	12 回
金華山サポーターズ（金華山登山道整備活動）	0 回	1 回	0 回
大洞の里山つくろう会（里山整備活動）	10 回	12 回	11 回
特定非営利活動法人森と水辺の技術研究会（里山整備活動）	0 回	2 回	2 回
その他（環境保全活動補助）	11 回	10 回	9 回
合計	43 回	49 回	46 回

指 標 名	③自然を守る取り組みをしている人の割合					
指標の見方	アンケートで、自然を守る取り組みを「している」「ときどきしている」と答えた人の割合					
基 準	34.4%（令和4年度）			目 標	40%（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	31.8%					
今後の対応	講座やイベント、環境教育の実施のほか、自然環境保全活動団体の活動紹介等により、生物多様性や保全活動についての周知と意識啓発を図る。					

・自然を守る取り組みをしている人の割合（内訳・推移）

＜環境に関するアンケート＞

Q. 河川の清掃や生物の保護など、自然を守る取り組みをしていますか。

回答 (市内在住者)	年 度 実施回数	令和4年度		令和5年度	
		3 回		4 回	
		人数	割合	人数	割合
している		45 人	8.3%	35 人	10.0%
ときどきしている		142 人	26.1%	76 人	21.8%
ほとんどしていない		249 人	45.7%	160 人	45.8%
全くしていない		109 人	20.0%	78 人	22.3%
合計		545 人	—	349 人	—

指 標 名	④本市のレッドデータブックに掲載した生きものの保全に関する活動回数					
指標の見方	本市のレッドデータブックに掲載した生きものの調査や保全、生息環境の維持などの活動の回数					
基 準	16 回（令和3年度）			目 標	増加（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	14 回					
今後の対応	自然環境保全活動団体や事業者、関係機関と協力して、希少種の保全に取り組む。					

・本市のレッドデータブックに掲載した生きものの保全に関する活動回数（内訳・推移）

活動内容／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ホトケドジョウ調査	5 回	5 回	7 回
ヤマトサンショウウオ保全	6 回	3 回	2 回
カタクリ保全	1 回	2 回	1 回
カヤネズミ調査	2 回	2 回	2 回
アズマヒキガエル保全	0 回	0 回	2 回
その他（ホトケドジョウ等移殖、イモリパトロール）	2 回	1 回	0 回
合計	16 回	13 回	14 回

◆関連する主な事業等

・「岐阜市生物多様性プラン アクションプラン 2023-2025」の推進

「岐阜市生物多様性プラン」の具体的な実施計画として、およそ3年ごとの数値目標を設定したアクションプランを作成しています。第3期となる本アクションプランでは、担い手づくりを主な目標とし、生物多様性の保全を推進しています。また、環境学習や市民への周知にも力を入れています。

・「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック 2023」の活用

市内の5,809種の動植物のうち、絶滅が危惧される生物として420種をレッドリストに選定し、また人為的影響で侵入した生物として276種をブルーリストに選定したデータブックを作成しました。また、子どもたちにも自然と生きものに興味をもってもらえるよう、市内で自然にふれあえる場所やそこで出会える生きものなどを紹介する概要版を作成しました。本データブックを活用し、生物多様性の保全や意識啓発を図っています。

＜データブック掲載種数＞

区分／分類群	植物	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	貝類	甲殻類	計
レッドリスト掲載種	268	10	24	6	11	27	28	42	4	420
ブルーリスト掲載種	166	8	4	9	1	19	44	23	2	276

・岐阜市の自然情報継続調査事業

令和元年度から令和3年度にかけて実施した岐阜市自然情報調査に基づき、「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック 2023」を作成し、さらに気候変動などによる環境変化を継続的に把握するため、令和5年度から生息状況の確認に必要な調査を行っています。

・貴重野生動植物種生息・生育保全事業

「岐阜市自然環境の保全に関する条例」に基づき、平成16年度から貴重野生動植物種に指定したヒメコウホネ、ヤマトサンショウウオ、ホトケドジョウについて生息・生育状況を調査し、基礎データを蓄積しています。

・岐阜市自然環境保全条例指定種の保全

ヤマトサンショウウオを保全するため、岐阜高等学校自然科学部生物班、岐阜大学や世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ（各務原市）と連携して、卵のうの保護、域外保全の推進、幼生の放流などを行っています。

また、ホトケドジョウの生息及び繁殖状況を確認するため、生息が確認されている市北部の33地点をモニタリング調査しています。

・自然ふれあい活動支援事業

「岐阜市自然ふれあい地域ビジョン」に基づき、地域の自然環境保全活動の支援や環境学習のプログラムづくりのほか、自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」の運営・管理などを行っています。

・生物多様性シンポジウムの開催

生物多様性への理解を深め、保全の意義や重要性を市民とともに考えるため、継続的にシンポジウムを開催しています。令和5年度は、レッドリスト・ブルーリストの生きものをテーマに、有識者による講演やトークセッションを行いました。

区分／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生物多様性シンポジウムの開催回数 [開催日]	1回 [11/13]	2回 [8/6、1/29]	2回 [7/22、1/27]

・アースレンジャー自然体験塾の開催

岐阜市の代表的な里山「^{だちぼくぼら}達目洞」での米づくりや伊自良川での生き物調査、金華山の自然観察など、1年を通じて楽しく自然体験を行い、自然環境に興味を持つきっかけ作りをする体験型のイベントで、令和3年度から毎年度開催しています。令和5年度は、稲作編を4回、昆虫編を4回開催しました。

＜開催内容(令和5年度)＞

稲作編	回	開催日	内容
	1	5/21	川の水生生物調査 川の水質調査
	2	6/18	達目洞の自然観察 田植え
	3	10/15	達目洞の自然観察 稲刈り
	4	11/19	秋の里山探検隊 クラフト体験

昆虫編	回	開催日	内容
	1	7/9	みつばち学習会 みつばちの家を見学
	2	9/10	川の水生生物調査 川の水質調査
	3	10/29	達目洞の自然観察 昆虫探し
	4	12/3	金華山登山と自然観察

◆自然環境保全活動団体

「岐阜市自然環境の保全に関する条例」に基づき、営利を目的とせず、独立して組織を運営し、市内で自然環境の保全又は創造のための活動を実施している団体を、自然環境保全活動団体として承認しています。（令和５年度末で１１団体）

<自然環境保全活動団体（令和５年度）>

No.	団体名	活動内容
1	達目洞自然の会	達目洞の逆川に生育するヒメコウホネをシンボルとして、達目洞の自然環境保全を行う。
2	十時会	金華山の保全、登山道整備、森林パトロール、清掃活動などを行う。
3	金華山サポーターズ	金華山の保全、調査研究、環境学習を実施し、金華山を後世に伝えるとともに、様々な機関、団体との連携を図る。
4	ボランティア 「風と土の会」	環境教育、竹林整備、竹炭づくりなどを行い、自然と人が共生できる循環型社会づくりなどに寄与する。
5	特定非営利活動法人 ぎふし森守クラブ	森林の重要性を認識するとともに、森林の整備、保全、ふれあい活動などを通して豊かな環境づくりを行う。
6	特定非営利活動法人 長良川環境レンジャー協会	河川環境調査・保全活動及び流域小中学校への環境教育などの啓発活動を行う。
7	日本野鳥の会 岐阜	自然と人が共生できる環境づくりを目的に、野鳥を中心とした自然観察、調査研究、自然保護活動を行う。
8	特定非営利活動法人 森と水辺の技術研究会	「森と水辺」、「水源域と下流域」、「流域全体」をつなぐ技術の発展と普及・啓発に資する研究、事業を行う。
9	特定非営利活動法人 エヌエスネット	子どもたちに、山・森・川をフィールドにした日帰りまたは宿泊を伴う長期キャンプなどの自然体験を提供する。
10	特定非営利活動法人 ふれあいの森自然学校	「ながら川ふれあいの森」を主なフィールドとし、観察会・ネイチャーゲームなど自然の魅力に触れ合うことができる自然体験を提供する。
11	大洞の里山つくろう会	地域の里山の再生、遊歩道整備などを通じて住民交流の場の整備と住民交流事業の実施などを行う。

施策 4 生活環境を快適にします

1 大気環境の保全

大気汚染防止法等に基づき、大気測定局での大気汚染物質の常時監視やダイオキシン類の測定などを行うとともに、事業場等への立入検査や指導などを行い、大気環境の保全に取り組んでいます。

◆各指標の推進状況

指 標 名	①光化学オキシダントの環境基準の適合率					
指標の見方	昼間の 1 時間値が 0.06ppm 以下の時間数の割合					
基 準	94%（令和 3 年度）			目 標	96%（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	94%					
今後の対応	市内測定局で常時監視を行うとともに、情報提供や周知啓発、注意喚起等を行う。					

・光化学オキシダントの環境基準※の適合率（内訳・推移）

※ 1 時間値が 0.06 ppm 以下であること

年度 測定局 (単位)	令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度		
	昼間 測定時間	昼間の 1 時間値が 0.06ppm 以下の 時間数とその割合		昼間 測定時間	昼間の 1 時間値が 0.06ppm 以下の 時間数とその割合		昼間 測定時間	昼間の 1 時間値が 0.06ppm 以下の 時間数とその割合	
	(時間)	(時間)	(%)	(時間)	(時間)	(%)	(時間)	(時間)	(%)
岐阜中央	5,398	5,040	93.4	5,399	5,062	93.8	5,423	5,135	94.7
岐阜南部	5,411	5,041	93.2	5,404	5,029	93.1	5,371	4,985	92.8
岐阜北部	5,410	5,129	94.8	5,406	5,078	93.9	5,403	5,177	95.8
合計	16,219	15,210	93.8	16,209	15,169	93.6	16,197	15,297	94.4

○光化学オキシダント

工場・事業場や自動車から排出される窒素酸化物(NOx)や揮発性有機化合物(VOC)等が太陽光線を受けて光化学反応を起こすことで生成されるオゾン等の総称で、いわゆる光化学スモッグの原因となっている物質。強い酸化力を持ち、高濃度では眼やのどへの刺激や呼吸に影響を及ぼすおそれがある。

○光化学スモッグ予報・注意報・警報

予報は光化学オキシダントの 1 時間値が 0.10ppm 超、注意報は 0.12ppm 超、警報は 0.40 ppm 超で、いずれもその後も継続して超過する可能性がある場合に、市が岐阜県と協議して発令する。

指 標 名	②微小粒子状物質(PM _{2.5})の環境基準の適合率					
指標の見方	日平均値が 35μg/m ³ 以下の日数の割合					
基 準	100%（令和 3 年度）			目 標	100%（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	100%					
今後の対応	市内測定局で常時監視を行うとともに、情報提供や周知啓発、注意喚起等を行う。					

・微小粒子状物質（PM_{2.5}）の環境基準※の適合率（内訳・推移）

※ 1年平均値が 15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること

年度 測定局	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	年平均 値	有効測 定日数	日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の 日数とその割合		年平均 値	有効測 定日数	日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の 日数とその割合		年平均 値	有効測 定日数	日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下の 日数とその割合	
(単位)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(日)	(日)	(%)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(日)	(日)	(%)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(日)	(日)	(%)
岐阜中央	6.8	365	365	100	7.6	298	298	100	8.9	350	350	100
岐阜南部	8.8	298	298	100	8.9	296	296	100	9.3	350	350	100
岐阜北部	7.4	351	351	100	7.6	351	351	100	7.1	351	351	100
3局平均	7.7	—	—	100	8.0	—	—	100	8.4	—	—	100

指標名	③ダイオキシン類対策特別措置法の対象事業場の基準の適合率					
指標の見方	基準適合施設数/調査施設数					
基準	100%（令和3年度）			目標	100%（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	90%					
今後の対応	事業場等への立入検査及び規制遵守の指導を行うとともに、市内測定局での定期的な測定による現況把握に努める。					

・ダイオキシン類対策特別措置法の対象事業場の基準の適合率（内訳・推移）

区分/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調査施設数	11	10	10
基準適合施設数	11	10	9
適合率	100%	100%	90%

指標名	④アスベスト除去現場の漏えい基準の適合率					
指標の見方	基準適合現場数/測定現場数					
基準	100%（令和3年度）			目標	100%（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	100%					
今後の対応	建築物の解体等工事に伴うアスベストの飛散を防止するため、作業現場の立入検査及び作業基準の遵守の指導を行う。					

・アスベスト除去現場の漏えい基準の適合率（内訳・推移）

区分/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
測定現場数	10	11	8
基準適合現場数	10	11	8
適合率	100%	100%	100%

◆関連する主な事業等

・大気環境の常時監視

大気汚染防止法に基づき、市内に一般環境大気測定局 3 局、自動車排出ガス測定局 1 局を設置しています。測定局には大気汚染自動測定機を設置し、大気監視テレメーターシステムにより常時監視を行っています。

＜常時監視測定局の設置状況＞

測定局の種類 測定項目等	一般環境大気測定局			自動車排出ガス測定局
	測定局名 岐阜中央 (市役所八ツ寺別館)	岐阜南部 (あかね公園)	岐阜北部 (福光東公園)	岐阜明德 (明德公民館)
二酸化いおう(SO ₂)	○	○	○	
浮遊粒子状物質(SPM)	○	○	○	○
一酸化窒素(NO)	○	○	○	○
二酸化窒素(NO ₂)	○	○	○	○
光化学オキシダント(O _x)	○	○	○	
微小粒子状物質(PM _{2.5})	○	○	○	
炭化水素(HC)		○		
一酸化炭素(CO)				○
風向・風速	○			

・ダイオキシン類の常時監視

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項に基づき、市内測定局で定期的に測定を実施しています。(令和 5 年度は市内 1 測定局で年 2 回測定)

＜ダイオキシン類(大気)の年間平均値＞ (pg-TEQ/m³)

測定局／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
岐阜中央	0.016	0.013	0.0082
岐阜北部	0.011	0.0093	—
2 局平均	0.014	0.011	—

○一般環境大気におけるダイオキシン類の環境基準…年間平均値が 0.6pg-TEQ/m³以下であること

・一般環境中のアスベスト繊維数濃度測定

市内 3 測定局において年 2 回、一般環境中の総繊維数濃度を測定しています。繊維数濃度が 1 本/L を超過したものについては、アスベスト繊維数濃度を確定する同定検査を行います。

＜一般環境中の総繊維数濃度測定結果(令和 5 年度)＞

測定局／測定月	6 月	12 月
岐阜中央	0.12 本/L	0.11 本/L
岐阜南部	0.10 本/L	0.14 本/L
岐阜北部	0.13 本/L	0.12 本/L

・有害大気汚染物質調査

有害大気汚染物質の長期曝露による健康影響の未然防止を図るため、岐阜中央測定局及び岐阜北部測定局（一般）で 21 物質、岐阜明德測定局（沿道）で 6 物質のモニタリング調査を実施しています。

＜有害大気汚染物質の調査結果（令和 5 年度）＞

物質	測定結果（年平均値）			環境基準値 又は指針値
	岐阜中央測定局	岐阜北部測定局	岐阜明德測定局	
アクリロニトリル	0.0017 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.0009 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
アセトアルデヒド	1.9 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
塩化ビニルモノマー	0.013 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.013 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
塩化メチル	1.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
クロロホルム	0.12 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.11 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
酸化エチレン	0.051 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.051 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—
1,2-ジクロロエタン	0.070 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.070 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	1.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
ジクロロメタン	1.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.97 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
水銀及びその化合物	1.6ng-Hg/ m^3	1.5ng-Hg/ m^3	—	40ng-Hg/ m^3 以下
テトラクロロエチレン	0.020 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.022 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
トリクロロエチレン	0.18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.31 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
ニッケル化合物	1.0ng-Ni/ m^3	0.86ng-Ni/ m^3	—	25ng-Ni/ m^3 以下
ヒ素及びその化合物	0.47ng-As/ m^3	0.46ng-As/ m^3	—	6ng-As/ m^3 以下
1,3-ブタジエン	0.025 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.016 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.026 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
ベリリウム及びその化合物	0.0066ng/ m^3	0.010ng/ m^3	—	—
ベンゼン	0.53 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.45 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.54 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
ベンゾ[a]ピレン	0.075ng/ m^3	0.076ng/ m^3	0.082ng/ m^3	—
トルエン	3.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
ホルムアルデヒド	2.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
マンガン及びその化合物	8.5ng-Mn/ m^3	8.1ng-Mn/ m^3	—	140ng-Mn/ m^3 以下
クロム及びその化合物	1.3 ng/ m^3	1.0 ng/ m^3	—	—

・特定事業場への立入検査

大気汚染防止法及び岐阜県公害防止条例に定められた施設を有する工場及び事業場等に対して、届出内容及び規制基準の遵守の確認を行うために立入検査を実施しています。

＜立入検査の状況（令和 5 年度）＞

区分	大気汚染防止法					県条例
	ばい煙	揮発性有機化合物(VOC)	水銀	一般粉じん	特定粉じん 排出等作業	一般粉じん
立入検査	37 件	2 件	7 件	5 件	57(14※)件	5 件
測定等の行政検査	0 件	0 件	0 件	0 件	8 件	0 件
行政上の措置	改善勧告	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	改善命令	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

※負圧隔離等が必要な現場への立入検査件数

2 水・土壌環境の保全

水質汚濁防止法等に基づき、河川水や地下水の調査を実施するとともに、事業場等への立入検査や指導などを行い、水・土壌環境の保全に取り組んでいます。

◆各指標の推進状況

指標名	①河川水質基準の適合率					
指標の見方	生活環境項目基準適合検体数/環境基準点(8地点)の検体数					
基準	89.4% (令和3年度)			目標	100% (令和9年度)	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	97.5%					
今後の対応	定期的に河川の水質調査を行い、現況把握に努めるとともに、情報提供や周知啓発等を行う。					

・河川水質基準の適合率（内訳・推移）

環境基準点	類型	適合率(生活環境項目基準適合検体数/検体数)					
		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
①長良川中流(藍川橋)	A	86.7%	(52/60)	100%	(60/60)	96.7%	(58/60)
②長良川下流(長良大橋)	A	83.3%	(50/60)	100%	(60/60)	98.3%	(59/60)
③伊自良川上流(繰舟橋)	A	80.0%	(48/60)	91.7%	(55/60)	93.3%	(56/60)
④伊自良川下流(竹橋)	C	100%	(48/48)	100%	(48/48)	100%	(48/48)
⑤境川上流(東辰新橋)	C	100%	(48/48)	100%	(48/48)	100%	(48/48)
⑥境川下流(境川橋)	C	97.9%	(47/48)	100%	(48/48)	100%	(48/48)
⑦荒田川(出村)	B	83.3%	(50/60)	96.7%	(58/60)	93.3%	(56/60)
⑧鳥羽川(伊自良川合流前)	B	90.0%	(54/60)	100%	(60/60)	100%	(60/60)
合計		89.4%	(397/444)	98.4%	(437/444)	97.5%	(433/444)

<生活環境項目基準>

項目 ／ 類型	基準値				
	水素イオン濃度(pH)	生物化学的酸素要求量(BOD)	浮遊物質(SS)	溶存酸素量(DO)	大腸菌数
	水の酸性、アルカリ性の度合いを示す指標(pHが中性)	微生物好気性バクテリアが水中の有機物を酸化分解するのに必要な酸素の量	水中に浮遊する直径2mm以下の粒子状物質の量	大気中から水に溶け込んでいる酸素(O ₂)の量	水のふん便汚染の指標
A	6.5 以上 8.5 以下	2 mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300 CFU/100mL 以下
B		3 mg/L 以下		5 mg/L 以上	1,000 CFU/100mL 以下
C		5 mg/L 以下	50 mg/L 以下		—

<生活環境項目別の適合率>

環境基準点	適合率(生活環境項目基準適合検体数/検体数)					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
水素イオン濃度(pH)	100%	(96/96)	100%	(96/96)	100%	(96/96)
生物化学的酸素要求量(BOD)	97.9%	(94/96)	99.0%	(95/96)	99.0%	(95/96)
浮遊物質(SS)	100%	(96/96)	99.0%	(95/96)	100%	(96/96)
溶存酸素量(DO)	100%	(96/96)	99.0%	(95/96)	99.0%	(95/96)
大腸菌数	—	—	93.3%	(56/60)	85.0%	(51/60)
大腸菌群数※	25.0%	(15/60)	—	—	—	—

※令和4年度から大腸菌群数が項目から削除され、大腸菌数が新たに追加された（環境省）

指 標 名	②排水基準の適合率					
指標の見方	基準適合事業場数/排水調査事業場数					
基 準	92.7% (令和 3 年度)			目 標	100% (令和 9 年度)	
推進状況	令和 5 年度 98.2%	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	排水基準の周知徹底を図るとともに、定期的な事業場への立入検査及び指導を行う。					

・排水基準の適合率（内訳・推移）

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
排水調査事業場数	55	38	55
基準適合事業場数	51	35	54
適合率	92.7%	92.1%	98.2%

<排水基準>

項目		基準値(許容限度)	項目		基準値(許容限度)
有害物質	カドミウム※ ¹	0.03mg/L	有害物質	セレン※ ¹	0.1mg/L
	シアン化合物	1mg/L		ふっ素※ ¹	8mg/L
	鉛※ ¹	0.1mg/L		ほう素※ ¹	10mg/L
	六価クロム化合物	0.5mg/L		1,4-ジオキサン	0.5mg/L
	ヒ素※ ¹	0.1mg/L		有機燐化合物※ ²	1mg/L
	水銀※ ¹	0.005mg/L		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物※ ³	100mg/L
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	その他の項目	水素イオン濃度(水素指数,pH)	5.8 以上 8.6 以下
	PCB(ポリ塩化ビフェニル)	0.003mg/L		生物化学的酸素要求量(BOD)	160(日間平均120)mg/L
	ジクロロメタン	0.2mg/L		化学的酸素要求量(COD)	160(日間平均120)mg/L
	四塩化炭素	0.02mg/L		浮遊物質(SS)	200(日間平均150)mg/L
	1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L		ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	5mg/L
	1,1-ジクロロエチレン	1mg/L		ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	30mg/L
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L		フェノール類	5mg/L
	1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L		銅	3mg/L
	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L		亜鉛	2mg/L
	トリクロロエチレン	0.1mg/L		溶解性鉄	10mg/L
	テトラクロロエチレン	0.1mg/L		溶解性マンガン	10mg/L
	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L		クロム	2mg/L
	チウラム	0.06mg/L		大腸菌群数	日間平均3000個/cm ³
	シマジン	0.03mg/L		窒素	120(日間平均60)mg/L
	チオベンカルブ	0.2mg/L		燐	16(日間平均8)mg/L
	ベンゼン	0.1mg/L			

※¹ その化合物を含む ※² パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及び EPN に限る

※³ アンモニア性窒素は測定値に 0.4 を乗じて計算する

指標名	③地下水の概況調査における環境基準の適合率					
指標の見方	環境基準適合地点数/地下水調査地点数(23 地点)					
基準	100% (令和 3 年度)			目 標	100% (令和 9 年度)	
推進状況	令和 5 年度 100%	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	定期的に地下水の水質調査を行い、現況把握に努めるとともに、情報提供や周知啓発等を行う。					

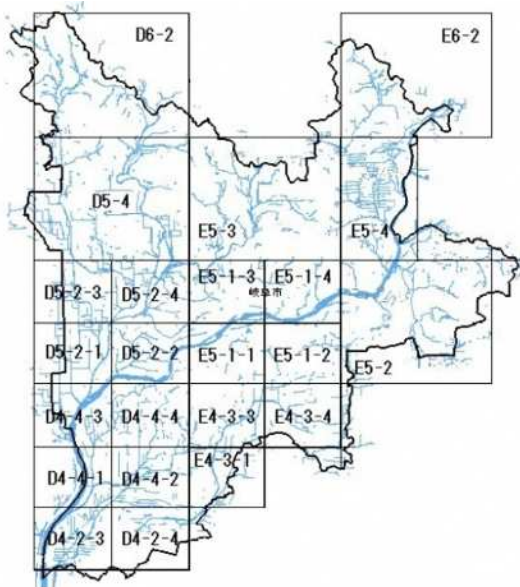
・地下水の概況調査における環境基準の適合率（内訳・推移）

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
地下水調査地点数	23	23	23
環境基準適合地点数	23	23	23
適合率	100%	100%	100%

＜地下水の概況調査の調査地点（令和 5 年度）＞

No.	区域	所在地
1	D4-2-3	日置江 2 丁目
2	D4-2-4	南鶉 5 丁目
3	D4-4-1	下奈良 2 丁目
4	D4-4-2	六条大溝 4 丁目
5	D4-4-3	河渡 3 丁目
6	D4-4-4	今嶺 2 丁目
7	D5-2-1	又丸村中
8	D5-2-2	日光町 7 丁目
9	D5-2-3	上尻毛八幡
10	D5-2-4	則武西 2 丁目
11	D5-4	古市場
12	D6-2	佐野

No.	区域	所在地
13	E4-3-1	茜部菱野 4 丁目
14	E4-3-3	幸ノ町
15	E4-3-4	切通 8 丁目
16	E5-1-1	日野西 2 丁目
17	E5-1-2	栗野西 1 丁目
18	E5-1-3	長良古津
19	E5-1-4	山県岩
20	E5-2	中大桑町
21	E5-3	雄総桜町
22	E5-4	長良福光
23	E6-2	門屋字野崎



＜地下水の水質汚濁に係る環境基準＞

項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L 以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/L 以下
六価クロム	0.02mg/L 以下
ヒ素	0.01mg/L 以下
総水銀	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	検出されないこと
PCB（ポリ塩化ビフェニル）	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	0.002mg/L 以下
クロロエチレン	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L 以下
1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L 以下

項目	基準値
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L 以下
チウラム	0.006mg/L 以下
シマジン	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	0.02mg/L 以下
ベンゼン	0.01mg/L 以下
セレン	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L 以下
ふっ素	0.8mg/L 以下
ほう素	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/L 以下

指標名	④ダイオキシン類環境基準の適合率（水・土壌）					
指標の見方	環境基準適合数/ダイオキシン類調査数(河川水、河川底質、地下水、土壌)					
基準	100%（令和3年度）			目標	100%（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	100%					
今後の対応	定期的に水質及び土壌について調査を行い、現況把握に努めるとともに、情報提供や周知啓発等を行う。					

・ダイオキシン類環境基準の適合率（水・土壌）（内訳・推移）

区分／年度	適合率(環境基準適合数/ダイオキシン類調査数)					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
河川水	100%	(4/4)	100%	(4/4)	100%	(4/4)
河川底質	100%	(4/4)	100%	(4/4)	100%	(4/4)
地下水	100%	(3/3)	100%	(3/3)	100%	(3/3)
土壌	100%	(8/8)	100%	(8/8)	100%	(8/8)
合計	100%	(19/19)	100%	(19/19)	100%	(19/19)

＜調査結果（令和5年度）＞

調査地点／項目	河川水	河川底質	地下水
	濃度	濃度	濃度
長良川 長良橋	0.055	0.13	—
鳥羽川 正城橋	0.21	3.5	—
境川 境川橋	0.52	0.44	—
荒田川 水門橋	0.70	54	—
民間事業所（敷島町3丁目）	—	—	0.013
民間事業所（雄総柳町2丁目）	—	—	0.013
民間事業所（中西郷5丁目）	—	—	0.013

(pg-TEQ/m³)

調査地点／項目	土壌	
	区分	濃度
御望公園	一般環境	0.88
長良公園	一般環境	0.86
本荘西公園	一般環境	0.36
茜町広場	発生源周辺	0.050
宮東公園	発生源周辺	0.053
交人公園	発生源周辺	0.55
伊鳥緑地	発生源周辺	0.074
岐阜市立長森南中学校	発生源周辺	0.031

＜ダイオキシン類の環境基準＞

区分	基準値
水質	1 pg-TEQ/L 以下
水底の底質	150pg-TEQ/g 以下
土壌	1,000pg-TEQ/g 以下

◆関連する主な事業等

・河川水質調査

水質環境基準（河川）の達成状況を把握するため、県計画及び市計画に基づき長良川及び支川の定期的な水質及び底質調査を行っています。本市では、市内測定 29 地点において、水質環境基準（健康項目及び生活環境項目）の達成状況を調査しています。令和 5 年度の調査結果は、すべて環境基準に適合していました。

・長良川水浴場の水質調査

平成 13 年に「日本の水浴場 88 選」として選定された長良川水浴場について、水質の現状を把握し、必要に応じて必要な措置を講ずるため、毎年、水質調査を行っています。

・地下水汚染モニタリング調査（テトラクロロエチレン等）

平成 12 年 11 月から平成 15 年 2 月に実施したテトラクロロエチレン等に係る地下水汚染調査により判明した汚染地区及び要監視地区において、定点井戸におけるモニタリング調査等を実施し、経年的に汚染状況や浄化対策効果の把握に努めています。

・六価クロム地下水汚染対策

昭和 46 年に六価クロムによる地下水汚染が判明し、原因とされるメッキ工場周辺住民の健康を保護するため、現在では、鏡島地区の 3 地点の井戸において年 4 回の定点監視調査を実施しています。

・地下水位定点・定時観測調査

地下水の状況及び地盤沈下の可能性を把握するため、昭和 48 年度から市内 8 か所の井戸に水位自動測定器を設置し、経年的に地下水位を観測しています。

・ゴルフ場排水調査

「岐阜市ゴルフ場環境管理指導要綱」に基づき、市内のゴルフ場と環境管理協定書を締結し、農薬等の使用量の抑制、排水などの監視指導を行うとともに、排水水について農薬検査を行っています。

・水質汚濁事故対策

公共用水域における水質汚濁事故について速やかに対応するため、関係部署との間で「岐阜市河川事故対応措置」を作成し、水質汚濁による被害の拡大防止に努めています。

・浄化槽設置整備事業

生活排水による河川の水質汚濁の進行を防止し、生活環境の保全を図るため、下水道区域以外の住宅に浄化槽を設置する場合、補助金を交付しています。また、合併処理浄化槽に切り替える際の配管工事や単独処理浄化槽の撤去工事に対して、補助金額を上乗せしています。

＜補助件数＞

区分／年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
浄化槽設置補助	45 件	37 件	50 件
上乗せ補助	28 件	16 件	30 件

・土壌汚染対策

土壌汚染による健康被害を防止するため、土壌汚染対策法の規定により、調査結果に基づき要措置区域（土壌汚染の摂取経路があり、健康被害が生ずるおそれがあるため、汚染の除去等の措置が必要な区域）等を指定・公示し、最低限必要な措置を明示しています。

3 騒音・振動・悪臭の規制

騒音規制法等に基づき、騒音調査を実施するとともに、事業場等への周知や指導を行い、騒音・振動・悪臭の対策に取り組んでいます。

◆各指標の推進状況

指標名	①騒音の環境基準の達成率（一般地域）					
指標の見方	達成地点数/調査地点数					
基準	100%（令和3年度）			目標	100%（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	100%					
今後の対応	騒音調査により現況把握に努めるとともに、情報提供や周知啓発、必要に応じて事業場等に規制遵守の指導等を行う。					

・騒音の環境基準の達成率（一般地域）（内訳・推移）

区分／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調査地点数	7	6	6
達成地点数	7	6	6
適合率	100%	100%	100%

＜一般地域における騒音の調査結果（令和5年度）＞

測定地点	用途地域	類型	測定結果（基準適否）	
			昼間（6～22時）	夜間（22～6時）
長良3丁目	第1種低層住居専用地域	A	45 dB（適）	34 dB（適）
中川原1丁目	第1種住居地域	B	46 dB（適）	40 dB（適）
加野1丁目	第1種低層住居専用地域	A	44 dB（適）	32 dB（適）
岩田坂3丁目	第1種中高層住居専用地域	A	50 dB（適）	42 dB（適）
六条大溝4丁目	準工業地域	C	46 dB（適）	41 dB（適）
宮浦町	第1種住居地域	B	43 dB（適）	36 dB（適）

＜騒音の環境基準（一般地域）＞

類型	該当地域	区域の区分	基準値	
			昼間（6～22時）	夜間（22～6時）
A	専ら住居用とされる地域	第1種区域、第2種区域のうち都市計画法に定める用途地域が第1種中高層住居専用地域又は第2種中高層住居専用地域	55 dB 以下	45 dB 以下
B	主に住宅用とされる地域	第2種区域 （A 類型に該当する地域を除く）	55 dB 以下	45 dB 以下
C	住居とともに商業施設や工業施設のある地域	第3種区域、第4種区域	60 dB 以下	50 dB 以下

指 標 名	②騒音の環境基準の達成率（自動車騒音）					
指標の見方	達成戸数/調査路線沿道の全戸数					
基 準	93.9%（令和 3 年度）			目 標	95%（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度 93.1%	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	騒音調査により現況把握に努めるとともに、情報提供や周知啓発、必要に応じて管理者に環境改善の要求等を行う。					

・騒音の環境基準の達成率（自動車騒音）（内訳・推移）

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
調査路線沿道の全戸数	16,379 戸	16,379 戸	16,267 戸
環境基準達成戸数	15,381 戸	15,358 戸	15,140 戸
適合率	93.9%	93.8%	93.1%

＜騒音の環境基準（道路に面する地域）＞

類型	区域の区分	基準値	
		昼間(6～22 時)	夜間(22～6 時)
A	2 車線以上の車線を有する道路に面する地域	55 dB 以下	45 dB 以下
B	2 車線以上の車線を有する道路に面する地域	55 dB 以下	45 dB 以下
C	車線を有する道路に面する地域	60 dB 以下	50 dB 以下

ただし、「幹線交通を担う道路に近接する空間」については、特例として上表にかかわらず次表のとおりとなる

高速自動車国道 一般国道 県道 4 車線以上の市町村道並びに自動車専用道路に面する区域	70 dB 以下	65 dB 以下
上記のうち騒音の影響を受ける面の窓をいつも閉めて生活している場合の室内	45 dB 以下	40 dB 以下

指 標 名	③騒音の環境基準の達成率（航空機騒音）					
指標の見方	達成地点数/調査地点数					
基 準	100%（令和 3 年度）			目 標	100%（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度 100%	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	騒音調査により現況把握に努めるとともに、情報提供や周知啓発、必要に応じて管理者に環境改善の要求等を行う。					

・騒音の環境基準の達成率（航空機騒音）（内訳・推移）

類型	測定地点	測定結果※（基準適否）		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
I	前一色 1 丁目	55 dB（適）	50 dB（適）	55 dB（適）
II	高田 5 丁目	59 dB（適）	59 dB（適）	59 dB（適）
II	水海道 1 丁目	55 dB（適）	55 dB（適）	55 dB（適）
II	岩地 4 丁目	56 dB（適）	53 dB（適）	55 dB（適）
達成地点数/調査地点数		4 / 4	4 / 4	4 / 4
達成率		100%	100%	100%

＜航空機騒音の環境基準＞

類型	区域の区分（都市計画法に定める用途地域）	基準値
I	指定地域のうち、第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、田園住居地域	57 dB 以下
II	指定地域のうち、I類型以外の地域。ただし、工業専用地域、航空自衛隊岐阜基地の敷地、河川法に基づく河川区域を除く	62 dB 以下

◆関連する主な事業等

・工場・事業場への立入調査

騒音規制法、振動規制法及び岐阜県公害防止条例により定められた設備を設置する工場や事業場に対し立入調査を実施し、届出の確認や規制基準の遵守を指導しています。

著しい騒音・振動を発生する施設を「特定施設」、これを設置する工場・事業場を「特定工場等」としています。指定地域内にて特定施設を設置する者は規制基準を遵守し、設置や変更などをする場合は事前に届出が必要です。

＜届出と立入調査件数（令和5年度）＞

区分	届出	立入調査
騒音規制法	51 件	58 件
振動規制法	24 件	50 件
岐阜県公害防止条例(騒音)	68 件	52 件

・悪臭発生事業場実態調査

悪臭防止法の規定により市が定めた特定悪臭物質の規制を行うため、悪臭発生事業場における特定悪臭物質濃度及び臭気濃度を測定し、指導しています。

施策 5 環境意識を高めます

1 環境教育の推進と環境意識の向上

市民の環境意識を高め、自ら考え、自ら行動することができる人を育成するため、出前講座や体験型講座を開催するとともに、子どもたちへの環境教育や環境情報の発信などに取り組んでいます。

◆各指標の推進状況

指 標 名	①環境学習をしている人の割合					
指標の見方	環境に関するアンケートにおいて、環境学習をしていると回答した人の割合					
基 準	43.8%（令和 3 年度）			目 標	50%（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	41.8%					
今後の対応	イベントや講座など、環境について学ぶ機会を提供するとともに、多様な手段を活用して環境情報の発信を行い、市民の意識啓発を図る。					

・環境学習をしている人の割合（内訳・推移）

＜環境に関するアンケート＞

Q. 環境学習（環境教育）をしていますか。

回答 (市内在住者)	年 度 実施回数		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
			2 回		3 回		4 回	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
している	75 人	16.0%	70 人	14.6%	50 人	14.3%		
ときどきしている	130 人	27.8%	123 人	25.7%	96 人	27.5%		
ほとんどしていない	90 人	19.2%	103 人	21.5%	137 人	39.3%		
全くしていない	173 人	37.0%	182 人	38.1%	66 人	18.9%		
合計	468 人	—	478 人	—	349 人	—		

指 標 名	②出前講座の開催回数					
指標の見方	環境に関する出前講座の開催回数					
基 準	206 回（令和 3 年度）			目 標	増加（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	194 回					
今後の対応	市民のニーズに即した多様なテーマで講座の充実を図るとともに、活用についての周知啓発に努める。					

・ 出前講座※の開催回数（内訳・推移） ※環境部が実施する環境教育の講座

分野	講座名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地球温暖化	省エネ講座	7回	12回	10回
	地球温暖化と私たちの暮らし	5回	6回	8回
	環境マネジメントと環境経営	3回	3回	3回
	メガソーラー見学	3回	1回	2回
ごみ減量資源化	ごみ減量・資源化講座	9回	5回	8回
	雑がみ講座	11回	18回	10回
	ダンボールコンポスト講座（導入講座）	21回	17回	15回
	ダンボールコンポスト講座（アフター講座）	0回	4回	3回
	食品ロス講座	1回	0回	0回
	3Rクッキング講座	0回	1回	0回
	プラスチック製容器包装出前講座	121回	55回	25回
	パッカー車実演	0回	0回	7回
	リサイクルセンター見学	0回	68回	31回
	東部クリーンセンターと関連施設見学	5回	16回	46回
自然環境	岐阜市の水環境	3回	2回	1回
	長良川ってどんな川？ 他	7回	10回	11回
	水生生物調査（カワゲラウオッチング）	10回	16回	14回
合計		206回	234回	194回

指標名	③子どもの環境意識					
指標の見方	アンケート調査において、環境学習等を通して、環境意識が高まったと答えた子どもの割合					
基準	78.2%（令和4年度）		目標	増加（令和9年度）		
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	75.0%					
今後の対応	子どもたちが主体的に学び、行動することができるよう、体験学習等を織り交ぜ、学校での環境教育の充実に取り組む。					

・ 子どもの環境意識（内訳・推移）

＜アンケート＞

Q.「総合的な学習の時間」で、環境について学ぶ前と後では、環境を守る行動に変化がありましたか。

（前年度に総合的な環境教育を実施した市内小中学校の児童生徒を対象にアンケートを実施）

回答／年度	令和4年度		令和5年度	
	人数	割合	人数	割合
学ぶ前から行動していた	94人	16.7%	113人	20.8%
学んでから意識して行動するようになった	235人	41.7%	255人	46.9%
学んでからときどき行動するようになった	206人	36.5%	153人	28.1%
行動していない	29人	5.1%	23人	4.2%
合計	564人	—	544人	—

指 標 名	④こどもエコクラブへの参加団体数					
指標の見方	市内を拠点として活動するこどもエコクラブの団体数					
基 準	33 団体（令和 3 年度）			目 標	33 団体（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度 24 団体	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	市内のこどもエコクラブの発足式や交流会のほか、活動成果を発表するパネル展を開催し、広く活動を紹介するとともに、参加の促進を図る。					

・こどもエコクラブ※への参加団体数（内訳・推移）

※環境省が平成 7 年に開始した、幼児(3 歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブ

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
市内のこどもエコクラブ団体数	33 団体	29 団体	24 団体

<こどもエコクラブ一覧（令和 5 年度）>

No.	クラブ名	No.	クラブ名
1	柳津イオンチアーズクラブ	13	西郷小こどもエコクラブ
2	しぜん、生きものクラブ天神川	14	芥見東小学校 3 年生
3	長森南中学校 1 年 1 組	15	柳津小学校 5 年生
4	長森南中学校 1 年 2 組	16	鏡島小学校 4 年生
5	長森南中学校 1 年 3 組	17	岐阜高等学校自然科学部生物班①
6	長森南中学校 1 年 4 組	18	岐阜高等学校自然科学部生物班②
7	タオの e-c o（タオのいーこ）	19	方県小 5 年
8	東長良中学校 科学部	20	岩野田北小学校 4 年エコ委員会
9	MMP 1（岐阜市立三輪中学校 1 年 1 組）	21	岐阜北高等学校 科学部（自然科学班）
10	MMP 2（岐阜市立三輪中学校 1 年 2 組）	22	イオンチアーズクラブ岐阜
11	MMP 3（岐阜市立三輪中学校 1 年 3 組）	23	且格小学校 5 年生
12	MMP 4（岐阜市立三輪中学校 1 年 4 組）	24	七郷小学校 4 年生

指 標 名	⑤体験型環境教育の実施校数					
指標の見方	体験型環境教育を実施した学校数					
基 準	14 校（令和 3 年度）			目 標	増加（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度 35 校	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
今後の対応	多様な体験学習の提供と、環境教育プログラムガイド等の活用について周知啓発に努める。					

・体験型環境教育の実施校数（市内小中学校）（内訳・推移）

分野(内容)／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
複数講座（総合的な環境教育等）	8 校	13 校	12 校
地球環境の保全（省エネ講座等）	1 校	1 校	0 校
ごみの減量・資源化（施設見学、パッカー車実演等）	1 校	9 校	20 校
自然環境の保全（水環境体験講座等）	4 校	2 校	3 校
合計	14 校	25 校	35 校

◆関連する主な事業等

・総合的な環境教育

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育むことを目指し、「“岐阜市”の豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくために何ができるのか」をテーマに、市内小中学校と協力して、出前講座等を組み合わせた総合的な環境教育を進めています。

・「岐阜市環境教育プログラムガイド」の作成

子どもの頃から環境について学習し、意識を高め、環境に配慮した行動を実践していくため、小中学校の授業で活用できる環境に関する出前講座などのメニューをまとめたガイドブックを作成しています。毎年度内容を更新し、ホームページで公開しているほか、市内小中学校へ配信しています。

・「社会科副読本 ごみとわたしたち」の作成

環境教育の一環として、昭和 59 年度から岐阜市のごみ処理の概要をまとめた社会科副読本を作成しています。毎年度内容を更新し、市内小学 4 年生を対象に配布しており、令和 4 年度からは、児童のタブレット端末へデジタルファイルを配信しています。

・「子ども環境白書」の作成

「岐阜市環境白書」を基に、市内小学 4 年生から 6 年生向けに、自然や地球温暖化、ごみのことなど、身近な環境について分かりやすくまとめています。毎年度内容を更新し、ホームページで公開しているほか、児童のタブレット端末へ配信しています。

・岐阜市環境活動顕彰

「岐阜市環境基本条例」に基づき、環境の保全及び創出のための活動に関し、顕著な功績があった市民や事業者等を顕彰しています。対象分野は環境保全活動、ごみ減量活動、環境教育活動、研究開発活動の 4 分野で、継続的に活動を実施する個人や団体等に対し、毎年度顕彰を行っています。

＜被顕彰者（令和 5 年度）＞

個人・団体等	活動分野	活動内容
岐阜市立 長良小学校	環境教育活動 (学校などでの 環境教育)	同小学校の児童たちの環境意識の向上などのため、長良川等の河川と海洋のつながりを体系的に学べるようにカリキュラムを再構築し、全学年で環境学習や体験活動に取り組まれています。

2 市民協働による環境美化の推進

「岐阜市まちを美しくする条例」に基づき、「環境美化の日」として定める 5 月 30 日と 11 月の第 3 日曜日に、ごみゼロ運動とクリーンシティぎふの日運動をそれぞれ実施し、市民や企業等と連携して環境美化活動に取り組んでいるほか、ごみのポイ捨てや路上喫煙を防止する啓発を行っています。

◆各指標の推進状況

指標名	①ごみゼロ運動・クリーンシティぎふの日運動における参加人数					
指標の見方	岐阜市都市美化推進連絡協議会から報告された参加人数					
基準	41,883 人（令和 3 年度）			目標	42,000 人（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	46,180 人					
今後の対応	市民や企業等と連携し、環境美化活動を推進するとともに、周知啓発に努める。					

・ごみゼロ運動・クリーンシティぎふの日運動における参加人数（内訳）

各運動の参加者数／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ごみゼロ運動	17,095 人	22,009 人	23,556 人
クリーンシティぎふの日運動	24,788 人	21,783 人	22,624 人
合計	41,883 人	43,792 人	46,180 人

◆関連する主な事業等

・都市美化推進事業補助金

市民の手による美しく明るいまちづくりを実現するため、岐阜市都市美化推進連絡協議会の各支部（自治会連合会）が行う都市美化に係る活動に対し、補助金を交付しています。

・ポイ捨てごみ定点観測調査

市中心部の 22 区間において、年 4 回、ポイ捨てごみを拾い集め、区間ごとにごみの種類※に分けて集計する調査を行っています。

※ごみの種類は、たばこの吸い殻、たばこの箱・フィルム、ビン・カン・ペットボトル、紙くず、プラスチックくず、その他の 6 種類

<ポイ捨てごみの数>

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ポイ捨てごみの総数	2,145 個	2,106 個	2,883 個

・路上喫煙の規制

路上喫煙禁止区域では、路上喫煙防止指導員が区域内を巡回し、啓発指導及び過料徴収を行っています。また、啓発看板や路面標示等を整備するとともに、市内で行われる祭りなどのイベント等に合わせ、ポイ捨て防止の街頭啓発を行っています。

＜路上喫煙禁止区域(令和6年3月末現在)＞

指定区域	指定日	効力発生日
JR 岐阜駅周辺、長良橋通り、玉宮通り、柳ヶ瀬及び旧市役所(本庁舎跡・南庁舎跡)周辺	平成 20 年 8 月 22 日	平成 20 年 10 月 1 日 (平成 21 年 1 月 1 日から 過料徴収開始)
金華山の 10 の登山道、岐阜公園の一部、川原町界隈	平成 23 年 3 月 1 日	平成 23 年 9 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
みんなの森 ぎふメディアコスモス周辺	平成 27 年 2 月 12 日	平成 27 年 8 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
JR 岐阜駅東区域	平成 30 年 11 月 15 日	平成 31 年 3 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
市役所新庁舎及びみんなの森 ぎふメディアコスモス敷地内	令和 3 年 3 月 2 日 (指定の解除)	(健康増進法による喫煙禁止の対象となるため、市役所新庁舎の開庁に合わせ、令和 3 年 5 月 6 日から禁止区域の指定を解除)

＜過料処分件数＞

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
過料処分件数	36 件	28 件	24 件

・路上喫煙率・吸殻ポイ捨て数調査

路上喫煙禁止区域を指定した効果を測るため、定期的に路上喫煙率と吸殻ポイ捨て数の調査を行っています。路上喫煙率は禁止区域内の 6 地点、吸殻ポイ捨て数は禁止区域内 17 区間を抽出して調査しています。

＜路上喫煙率・吸殻ポイ捨て数＞

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
路上喫煙率	0.25%	0.08%	0.37%
吸殻ポイ捨て数	685 個	687 個	861 個

3 環境重点地区の設定

「岐阜市環境基本条例」に基づき、岐阜市環境基本計画において、①長良川区域、②金華山区域、③百々ヶ峰区域、④石田川流域、⑤伊自良川流域を環境重点地区として「生物多様性保全推進区域」に定め、市民や自然環境保全団体による保全活動の支援などを行っています。また、⑥中心市街地区域を環境重点地区の「ぎふ脱炭素化促進区域」に定め、環境負荷の少ない移動手段の促進を行っています。

◆各指標の推進状況

指標名	①生物多様性保全推進区域内での保全活動支援回数					
指標の見方	生物多様性保全推進区域内での保全活動を環境部が支援した回数					
基準	33 回（令和 3 年度）			目標	増加（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	33 回					
今後の対応	市民や自然環境保全活動団体による取り組みを推進・支援し、同区域の協働による保全を目指す。					

・生物多様性保全推進区域内での保全活動支援回数（内訳）

生物多様性保全推進区域／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
長良川区域	11 回	10 回	10 回
金華山区域	20 回	21 回	23 回
百々ヶ峰	2 回	1 回	0 回
石田川流域	0 回	0 回	0 回
伊自良川流域	0 回	0 回	0 回
合計	33 回	32 回	33 回

指標名	②中心市街地の歩行者・自転車通行量					
指標の見方	中心市街地の 21 地点（つかさのまち周辺、柳ヶ瀬、神田町・玉宮、岐阜駅周辺）における歩行者及び自転車の通行量					
基準	38,600 人/日（令和 3 年度）			目標	45,700 人/日（令和 9 年度）	
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成
	40,996 人/日					
今後の対応	都市機能を集約したコンパクトなまちを目指し、徒歩や自転車をはじめ、公共交通機関等の環境負荷の少ない移動手段の利用促進を図る。					

・中心市街地の歩行者・自転車通行量（推移）

区分／年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
歩行者・自転車通行量 （休日と平日の平均）※	38,600 人/日	39,759 人/日	40,996 人/日

※中心市街地 21 地点の通行量合計値。通行量の観測は平日・休日 1 日の 10:00～19:00 に実施

◆関連する主な事業等

・ヒメコウホネ特別保全地区維持管理

「岐阜市自然環境の保全に関する条例」に基づき、平成19年3月に、金華山のふもとに位置する達目洞のヒメコウホネ自生地を、自然環境保全地区（特別保全地区）に指定し、自然環境保全活動団体（達目洞自然の会）や自然環境保護監視員と連携して保全管理に努めています。

・国の重要文化的景観の選定

長良川や金華山の恵みを受け、昔ながらの生業・生活の営みが残る長良川中流域は、平成26年に国の重要文化的景観に選定され、文化財保護法に基づき、保護されています。

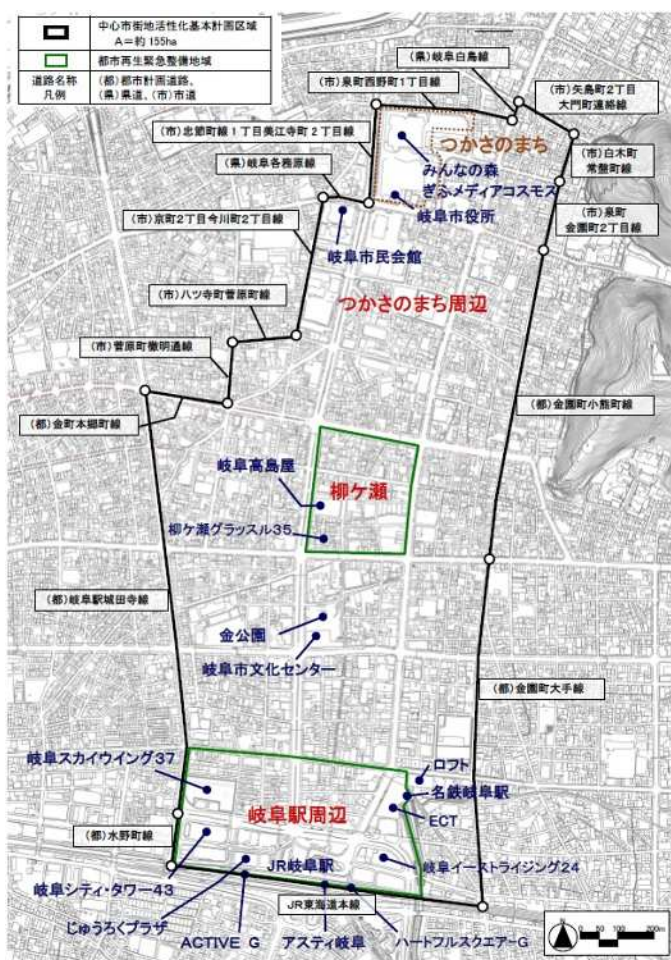
・コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ（岐阜市未来のまちづくり構想）

人口減少や高齢化が見込まれる中においても健康で快適な生活を確保するため、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方にに基づき、住宅と医療・福祉・商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りつつ、公共交通と連携したまちづくりを推進しています。

・「岐阜市中心市街地活性化基本計画」の推進

都市再生緊急整備地域に指定されている「岐阜駅北地域」「柳ヶ瀬通周辺地域」と、メディアコスモスと市役所新庁舎による新たな集客拠点を形成する「つかさのまち」を核とする区域を中心市街地と設定し、重点的に整備を進めています。

4期目の「岐阜市中心市街地活性化基本計画」に基づき、目指す中心市街地の都市像である「ここにしかない時間の過ごし方をつくり、日常的に訪れたいくなるまち」の実現のため「時間を消費したくなるような魅力づくり」と「選ばれるまちなか暮らし」を基本的な方針として、滞在時間の向上や来街者数の増加などの取り組みを進めています。



出典：（4期目）岐阜市中心市街地活性化基本計画

第4部 アンケート調査の結果

(1) 環境に関するアンケート

岐阜市環境基本計画の推進状況や市民の環境に対する関心度等を把握するため、環境部独自の「環境に関するアンケート」を実施しました。

＜実施概要（令和5年度）＞

実施日：10/1(日)、11/3(金・祝)、11/18(土)、11/19(日)

実施場所：みんなの森 ギフメディアコスモスなど

回答者数：477人（うち市内在住者 349人）

集計結果：以下のとおり（市内在住者の回答）

Q1. 岐阜市の環境について、どんなイメージをお持ちですか。（複数回答可）

回答	人数	割合	回答	人数	割合
自然豊か	278人	79.7%	自然が少ない	15人	4.3%
緑が多い	188人	53.9%	緑が少ない	17人	4.9%
ポイ捨て等なくきれいなまち	71人	20.3%	ポイ捨て等によりきたないまち	14人	4.0%
環境に負荷をかけないように配慮しているまち	42人	12.0%	環境に負荷をかけないような配慮を感じないまち	12人	3.4%

（回答者数 349人）

Q2. 身近な生活の中で、地球温暖化対策に役立つ行動に取り組んでいますか。

回答	人数	割合
いつも取り組んでいる	62人	17.8%
ときどき取り組んでいる	206人	59.0%
ほとんど取り組んでいない	71人	20.3%
取り組んでいない	10人	2.9%

（回答者数 349人）

取り組みの内容（複数回答可）

回答	人数	割合
節電・節水	209人	78.0%
省エネ製品の購入	90人	33.6%
太陽光発電などの設置	56人	20.9%
公共交通機関の利用	54人	20.1%
電気自動車の利用	10人	3.7%
その他（自転車の利用等）	15人	5.6%

（回答者数 268人）

Q3. 資源物のリサイクルなど、ごみ減量に取り組んでいますか。

回答	人数	割合
いつも取り組んでいる	154人	44.1%
ときどき取り組んでいる	161人	46.1%
ほとんど取り組んでいない	30人	8.6%
取り組んでいない	4人	1.1%

（回答者数 349人）

取り組みの内容（複数回答可）

回答	人数	割合
プラスチック製容器包装の分別	270人	85.7%
雑がみの分別	188人	59.7%
資源分別回収への参加	141人	44.8%
生ごみの減量	83人	26.3%
その他（不要なものの譲渡等）	1人	0.3%

（回答者数 315人）

Q4. 河川の清掃や生物の保護など、自然を守る取り組みをしていますか。

回答	人数	割合
している	35 人	10.0%
ときどきしている	76 人	21.8%
ほとんどしていない	160 人	45.8%
全くしていない	78 人	22.3%

(回答者数 349 人)

取り組みの内容（複数回答可）

回答	人数	割合
河川の清掃活動への参加	57 人	51.3%
ペットや外来種を自然に放さない	39 人	35.1%
環境保全団体の活動への参加	14 人	12.6%
植樹活動への参加	9 人	8.1%
その他（地域の清掃活動等）	4 人	3.6%

(回答者数 111 人)

Q5. 環境学習(環境教育)をしていますか。

回答	人数	割合
している	50 人	14.3%
ときどきしている	96 人	27.5%
ほとんどしていない	137 人	39.2%
全くしていない	66 人	18.9%

(回答者数 349 人)

学習の方法（複数回答可）

回答	人数	割合
学校で学んだ	61 人	41.8%
自分で学んだ	53 人	36.3%
職場で学んだ	51 人	34.9%
公民館などの講座で学んだ	10 人	6.8%
その他（テレビ等）	2 人	1.4%

(回答者数 146 人)

Q6. 岐阜市の取り組みに対する思いなど（任意） ※抜粋

○脱炭素化の促進（施策 1）に関すること

- ・国内トップの自然エネルギーを推進できるまちになってほしい。
- ・太陽光パネルや電気自動車が増えるように、補助を増やしてほしい。

○ごみの減量・資源化（施策 2）に関すること

- ・プラスチック製容器包装を分別してリサイクルするようになったのは、とても良いこと。
- ・ごみの分別をさらに進めてほしい。

○環境意識（施策 5）に関すること

- ・自然豊かな岐阜市なので、これからも豊かな自然を残していきたい。
- ・自然豊かな長良川の環境を守るため、子どもたちを巻き込んだ取り組みをもっと頻繁に実施してほしい。
- ・環境の保全について理解を深める教育や取り組みを、公開講座やショッピングモール等で実施してもらえると足を運びやすい。

(2) 市民意識調査

岐阜市の将来像と、その実現に向けたまちづくりの方向性を示す総合的な方針「岐阜市未来のまちづくり構想」に基づき、岐阜市の将来像『人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち』に近づいている度合を表す数値目標や、その実現に向けた各政策の有効性を把握する重要業績評価指標、岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略等における主観的指標の進捗を測定し、市民の意識や行動等をより多面的に把握することで、今後の各種政策立案等に活用していくことを目的に実施しました。

<調査結果>

以下のとおり（環境関係の設問）

Q. お住まいの周辺の環境は美しく保たれていると感じますか。

回答／各年度の割合	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
感じる	17.3%	18.9%	19.4%	19.5%	18.4%
どちらかといえば感じる	50.0%	51.9%	53.5%	52.0%	47.6%
どちらともいえない	12.6%	11.3%	10.5%	9.7%	22.2%
どちらかといえば感じない	11.8%	10.9%	9.2%	11.1%	7.6%
感じない	8.4%	7.0%	7.4%	7.8%	4.2%

（令和５年度回答者数 1,493 人）

Q. まちなみや景観の美しいまちだと思いますか。

回答／各年度の割合	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
思う	14.6%	16.0%	16.8%	14.4%	12.4%
どちらかといえば思う	43.8%	45.7%	46.7%	47.0%	42.7%
どちらともいえない	20.0%	18.8%	17.1%	19.4%	31.2%
どちらかといえば思わない	11.9%	11.5%	11.1%	12.0%	8.9%
思わない	9.7%	8.0%	8.5%	7.1%	4.8%

（令和５年度回答者数 1,481 人）

Q. 金華山や長良川などの自然の豊かなまちだと思いますか。

回答／各年度の割合	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
思う	45.6%	51.6%	47.4%	45.9%	40.8%
どちらかといえば思う	45.9%	41.1%	43.7%	46.7%	47.5%
どちらともいえない	4.2%	4.1%	4.8%	4.1%	8.5%
どちらかといえば思わない	2.6%	1.8%	1.9%	1.7%	1.7%
思わない	1.7%	1.4%	2.2%	1.6%	1.5%

（令和５年度回答者数 1,485 人）

Q. 省エネやごみの減量などの環境に配慮したまちだと思いますか。

回答／各年度の割合	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
思う	8.2%	8.8%	8.3%	10.2%	8.4%
どちらかといえば思う	34.1%	34.9%	33.0%	42.9%	34.3%
どちらともいえない	26.1%	27.2%	27.8%	26.3%	41.1%
どちらかといえば思わない	18.3%	18.3%	17.3%	12.6%	10.8%
思わない	13.3%	10.8%	13.5%	8.0%	5.5%

（令和５年度回答者数 1,483 人）